

各 位

会 社 名 オンキヨー株式会社
 代表者名 代表取締役社長 大脳直人
 (J A S D A Q ・ コード 6 7 2 9)
 問合せ先
 役職・氏名 取締役執行役員経営管理本部長 岡谷茂美
 電 話 0 7 2 - 8 3 1 - 8 0 0 1

平成 19 年 3 月期中間 (連結・単独) 業績予想の修正に関するお知らせ

平成 19 年 3 月期中間決算 (平成 18 年 9 月 30 日) の業績予想について、平成 18 年 5 月 25 日付当社「平成 18 年 3 月期決算短信 (連結) 」および同日付当社「平成 18 年 3 月期個別財務諸表の概要」にて発表いたしました業績予想を下記のとおり修正いたします。

1 . 平成 19 年 3 月期 中間連結業績予想の修正 (平成 18 年 4 月 1 日 ~ 平成 18 年 9 月 30 日)

(単位 : 百万円)

	売 上 高	経 常 利 益	中 間 純 利 益
前回予想 (A)	18,500	550	700
今回修正 (B)	19,800	170	660
増減額 (B - A)	1,300	720	40
増 減 率	7.0%	-	-
前中間期 (平成 18 年 3 月期中間) 実績	19,491	643	562

2 . 平成 19 年 3 月期 中間単独業績予想の修正 (平成 18 年 4 月 1 日 ~ 平成 18 年 9 月 30 日)

(単位 : 百万円)

	売 上 高	経 常 利 益	中 間 純 利 益
前回予想 (A)	18,000	800	200
今回修正 (B)	20,600	1,600	560
増減額 (B - A)	2,600	800	360
増 減 率	14.4%	100.0%	180.0%
前中間期 (平成 18 年 3 月期中間) 実績	18,540	267	242

3 . 修正理由

当中間期におきましては、連結業績・単独業績ともに当初の予想を超える増収・増益が見込まれるため上記の通り業績予想の修正を行います。

売上高につきましては、AVC 事業では、米国市場において商品構成が高付加価値商品へ順調にシフトした結果、好業績となりました。また国内市場においても PC との親和性、デジタルオーディオプレーヤーとの連動、さらには団塊の世代へ向けたハイファイ品質を訴求した新たな商品構成へスムーズに移行したため、業績を堅調に維持することができました。さらに OEM 事業でも、自動車、薄型 TV、携帯ゲーム機などの販売好調にともなう受注増により好業績となりました。これらの結果、当初の業績予想に対し約 13 億円の増収となる見通しとなりました。

経常利益につきましては、当初の業績予想より7億円程度（前年同期比8億円程度）の増益が見込まれ上方修正することとなりました。これは、商品構成が高付加価値商品へ順調にシフトしたことによる売上総利益率の改善と、販売費及び一般管理費の削減効果によるものであります。

また、特別損失として、平成18年9月29日に「平成19年3月期中間期末の投資有価証券評価損に関するお知らせ」において開示の投資有価証券評価損6億39百万円の計上と、構造改革関連費用1億80百万円などを含む合計約9億95百万円を見込んでおりますが、上記の経常利益の改善により、中間純利益につきましても40百万円程度改善する見通しとなりました。

なお、中間単独業績予想には、平成18年5月25日に開示の「平成18年3月期個別財務諸表の概要」に記載の通り、子会社からの受取配当金12億80百万円が含まれております。

4.平成19年3月期 通期（連結・単独）業績予想について（平成18年4月1日～平成19年3月31日）

平成19年3月期通期業績予想につきましては、本資料公表時点では前回公表（平成18年5月25日決算短信）の数値から変更はございません。この通期業績予想につきましては、最大の繁忙期であるクリスマス商戦の趨勢を見通した上で、あらためて公表する予定であります。

以 上